

江東連盟主催大会に於ける投手の投球制限

江東区学童少年軟式野球連盟

審判部長 加藤清太郎

【はじめに】

『少年部・学童部の投球制限』に関して、この度、東京都軟式野球連盟にてその細則を添付の通り策定（より理解し易くするため表現を変更）していますが、特に特別延長戦での投球条件が公認野球規則・軟連特別規則と異なる複雑な規定となっている為、現実の大会に於いてその正確・適正な運用が危惧されます。従いまして、江東連盟（傘下の各支部を含む）主催の大会に於いては、簡易版として、特別延長戦でも現状の公認野球規則・軟連特別規則を踏襲すべく、以下の規定を適用して対応致します。尚、都大会又は他の上部大会では添付の都連の細則、若しくはその変形の細則が適用されると思われまので、監督会議等で詳細をご確認下さい。

【江東連盟で適用する規定】（太字・斜字部分を適用。その他は都連細則と同様）

1日当たり、最大7イニングとする。但し、

- * そのイニングの投球数に拘わらず、投手が投手板に立ったら1イニングとカウントする。
- * 投手が守備交代して野手になり、その後同一イニング内に投手に戻った場合、2イニングとカウントせず、1イニングとする。
- * 特別延長戦は、上記制限に拘わらず1試合に限り投球できるが、特別延長戦以前に既に7イニング投球している選手は投球できない。但し、7イニング到達が特別延長戦になる直前の場合は、引き続き投球できる。（特別延長戦での投球は、イニング数にカウントしない。）
- * **特別延長戦での投手交代も、7イニング投球していなければ、通常通り可。即ち、**
 - **監督が同一イニングで投手の元に行って投手が野手になった場合は、そのイニングで再び投手になれない。イニングが変われば可。**
 - **上記以外の通常の投手交代の場合は、野手になった投手が同一イニングで再び投手になれる。**

【具体例】“○”：投球、“-”：投球せず、“●”：特別延長戦で投球可、“×”：投球不可

- (例1) 第1試合 ○○○○○○○○ →第1試合に7イニング投球したので、第2試合は投球不可
第2試合 ××××××××
- (例2) 第1試合 ○○○○- - - →合計7イニング投球したので、第2試合の6イニング目以降は投球不可
第2試合 - - ○○○××
- (例3) 第1試合 ○○○○○○○●● →第1試合に7イニング投球したが特別延長戦の直前に投球していたので引き続き特別延長戦で投球可、第2試合は投球不可
第2試合 ××××××××
- (例4) 第1試合 ○○○○- - - →合計7イニング投球したが第2試合の特別延長戦の直前に投球していたので引き続き特別延長戦で投球可。
第2試合 - - - - ○○○●●
- (例5) 第1試合 ○○○○- - - →第2試合の特別延長戦直前のイニングの前に合計7イニング投球したので第2試合の特別延長戦は投球不可。
第2試合 - - - ○○○××
- (例6) 第1試合 ○○○- - - ●● →第1試合の特別延長戦はイニング数にカウントしないので、第2試合では4イニングまで投球可。
第2試合 - - ○○○○×
- (例7) 第1試合 ○○○- - - ●● →第1試合の特別延長戦に投球しているので、合計7イニング未満でも第2試合の特別延長戦は投球不可。
第2試合 - - ○○○- - ××
- (例8) 第1試合 ○○○- - - - →第2試合の特別延長戦直前に投球しているが、合計7イニング投球しているので第2試合の特別延長戦途中で投手に交代不可。
第2試合 - - - ○○○○-×
- (例9) 第1試合 ○○○- - - - →合計7イニング未満なので第2試合の特別延長戦途中で投手に交代可。
第2試合 - - - ○○○- ●

投手の投球制限

【1日の試合数】

(1-1) チーム当たりの1日の試合数は2試合までとする。

【通常のイニング・特別延長戦での投球制限】

通常のイニング : 1イニングから7イニング、又は時間制限に到達したイニングまで
特別延長戦 : 7イニング終了時点又は時間制限に到達したイニング終了時点で同点の場合に、無死満塁・継続打順で最大2イニング行われる延長戦

【通常のイニングでの投球制限】(“-”：投球せず、“○”：投球、“×”：投球不可)

イニング数のカウント方法 : アウトカウント・投球数に拘わらず、投手板についたら1イニング投球したものとカウントする。但し、投手が野手に守備位置を変更し同一イニングで再び投手に戻った場合は、2イニングとカウントせず1イニングとする。

(2-1) 1日当たり7イニングを超えて投球することはできない。

(例1) 1試合目 - - - ○○○ - (1試合目に3イニング投球しているのに、2試合目2試合目○○ - - ○○× 目は4イニング投球した時点で交代)

(例2) 1試合目○○○○○○○○ (1試合目に7イニング投球しているのに、2試合目2試合目××××××× 目は投球不可)

【特別延長戦での投球制限】(特別延長戦で、“●”：投球可、“×”：投球不可)

(3-1) 特別延長戦開始の直前に投球していた投手は、その日の投球イニング数に拘わらず特別延長戦で投球できる。但し、1試合目の特別延長戦に投球した選手は、その日の投球数が6イニング以内であっても2試合目の特別延長戦では投球できない。

(例3) 1試合目○○○○○○○○●● (7イニング投球済だが特別延長戦で投球可)

(例4) 1試合目 - - - ○○○ -
2試合目 - - - ○○○●● (7イニング投球済だが特別延長戦で投球可)

(例5) 1試合目 - - - - ○○○●● (1試合目の特別延長戦で投球しているのに、2試合目 - - - - ○○×× 2試合目の特別延長戦での投球は不可)

(3-2) その日に1度も投球していない選手は、特別延長戦で投球できる。尚、特別延長戦での投球イニングは、その日の投球イニング数にカウントしない。

(例6) 1試合目 - - - - - ●● (1度も投球していないのに1試合目の特別延長戦で投球可。又、2試合目は7イニング投球可だが特別延長戦では投球できない。)

(3-3) その日に1度でも投球した選手で特別延長戦の直前に投球していなかった選手は、特別延長戦で投球できない。

(例7) 1試合目○○○ - - - - ×× (特別延長戦での投球は不可)

(例8) 1試合目○○○ - - - -
2試合目 - - - - - ×× (特別延長戦での投球は不可)

(3-4) 特別延長戦で投球した投手が途中で野手に守備位置を変更した場合は、その試合の特別延長戦で再び投手になることはできない。

(例9) 1試合目の特別延長戦1イニング目で野手に守備位置を変更した場合
1試合目 - - - - ○○○●× (交代した以降の特別延長戦での投球は不可)
2試合目 - - - - ○○○×× (3-1により特別延長戦での投球は不可)